

会 議 録

1 会議名

平成28年第1回阿賀野市福祉有償運送運営協議会

2 開催日時

平成29年3月24日（金） 午前10時00分から午前10時45分まで

3 開催場所

阿賀野市役所 第1多目的ホール

4 出席者（傍聴者を除く。）の氏名（敬称略）

- ・会 長：中山 明
- ・委 員：松沢正、小菅正博、荒井小百合、武村康仁、小菅章義、櫻井美智枝
（11人中7人出席）
- ・事 務 局：保科係長

5 議題（公開・非公開の別）

- （1）平成27年度下半期・平成28年度上半期の福祉有償運送の運営状況について（公開）
- （4）その他（公開）

6 非公開の理由

なし

7 傍聴者の数

0人

8 発言の内容

開会

（事務局）

定刻になりましたので、これより平成28年度第1回阿賀野市福祉有償運送運営協議会を開会させていただきます。

本会議は、阿賀野市審議会等の会議の公開に関する要綱に基づき公開することとし、議事録は議事概要形式で、会長の確認を得て公開することとしたいので、ご了承願います。

議事の進行は、会長にお任せいたします。

会長：あらためまして、皆さまおはようございます。平成28年度の第1回阿賀野市福祉有償運送運営協議会にお集まりいただき本当にありがとうございました。今年度もあと一週間ということで、年度末のお忙しい貴重な時間ですので、スピーディーに進めていきたいと思っております。

(1) 平成27年度下半期・平成28年度上半期の福祉有償運送の運営状況について

会長：事務局説明をお願いします。

事務局：実績報告について説明いたします。3ページから5ページが利用実績。6ページから10ページが身体状況ごとの会員数。11ページから12ページが利用料金について報告として載せております。それぞれにつきまして状況に目立つところをかいつまんで報告させていただきます。3ページの利用実績をご覧ください。おれんじぼーとさまの乗車回数が平成26年度上半期392回から徐々に減り、平成28年度上半期には183回と平成26年度と比べ50%の減少となっています。想定される理由として、新潟市内の利用者の増加に伴い阿賀野市の登録者が利用することが難しい状況にあると想定されます。クローバーさまについても同じく、乗車回数が平成26年度上半期229回から平成28年度上半期101回と50%以上減少しています。新潟市の事業所のため、理由としては、同じ理由が想定されます。続いて4ページをご覧ください。満日の里さまは平成26年度に比べ平成28年度は増加しています。これは、事業所の調整が上手く機能したものと考えられますが、まだまだ当市の福祉有償運送の事業所がすまない状況があるため新潟市内の事業所に負担をお願いするしかない現状となっています。阿賀野市社会福祉協議会さまが、平成28年度上半期は実績0となっている状況について説明いたします。阿賀野市社会福祉協議会さまについては、1年間の会員登録方法で実施しています。そのため、平成28年4月1日から会員登録者がいなかったため実績0と報告がきています。5ページには全事業所の合計を載せております。乗車回数については、全体的に平成26度、平成27年度上半期がおおよそ780から790回と比べ平成27年度下半期、平成28年度上半期が32%程度減少しています。ただし、平成26年度の運転者数については、平成26年度から平成28年度若干の変動はありますが、平成26年度から比べれば運転者数は増えています。続いて、身体状況については、平成26年度上半期から平成28年度上半期まで記載していますが、平成26年度上半期の身体

障がい者数が5人に対し平成27年度上半期は12名と平成26年度と比べ2.4倍になっています。また、知的障がい者についても平成26年度上半期21名に対し平成27年度上半期29名と増加しています。平成28年度上半期は横ばいとなっています。最後、利用料金については、全事業所変更はありません。

以上、報告をいたします。

会長：事務局から実績報告がありました。報告ということなので、次のその他で感想も含め一緒に意見を求めたいと思います。

(2) その他

会長：実績報告を受けた感想や意見なども含め、何かあったらお願いします。

A委員：おれんじぼーとの実績で平成26年度から平成28年度にかけて徐々に減少している理由は、ヘルパー数が減少しているためです。法人全体で職員数が減ってきていて、募集してもなかなか人材が入ってこない状況の中、おれんじぼーともヘルパー数が年々減少しています。それに伴い、利用者に派遣ができなくなっています。平成29年度も男性職員が減少します。自閉の強い利用者には男性ヘルパーが支援に行っていますが、そういう方への派遣が難しくなるのではないかと危惧しています。

阿賀野市社会福祉協議会さんで福祉有償運送を実施しているが、登録者がいないというであるが、あおれんじぼーとを利用する阿賀野市の方は土日に利用される方が多い。土日は申込者がかなり多く、阿賀野市は遠方になるので利用できないことが多くて申し訳ない。そのような場合として、誰かが新潟市や亀田に送ってくだされば、そこからおれんじぼーとが引き継いでガイドのスタートができる。映画を観たい方は映画を観て、その後、亀田などまで送り阿賀野市社会福祉協議会さんに引き継げればもう少し阿賀野市の方のガイドができると思う。

B委員：平成28年度上半期は登録はないが下半期は活動実績があります。運転手をボランティアグループとして位置づけていて、職員も講習を受け緊急時には支援に出られるような体制を整えています。実際に今のお話のように新潟市まで送ったケースがあつて、そこにヘルパーが待っていて引継ぐ支援も3回程度実際行い、その辺のヘルパーとの調整は直接話し、迎える時間の調整も行いました。しかし、ボランティアの数が足りない状況です。

C委員：利用実績の中の利用件数と乗車回数の算出の方法が事業所によって違いが見られる。それぞれの事業所によってとらえ方が違うとデーターが違ってくるが、正確にはどちらが正しいのか。

事務局：指摘事項を把握していなかった。今後は、利用件数は利用日の実利用者数とし、乗車回数は行き帰りであれば2回という形で統一していきたいと考えているがそれでよろしいでしょうか。

全委員：その形でいい。

D委員：おれんじぼーとさんの利用者の形態はどうなっていますか。場合によっては、夏場プールに連れて行ってもらいたい。プールに行ったら一緒にヘルパーに入ってもらなどあると思うが主にはどのような形態ですか。

A委員：ガイドヘルプなので、自宅に迎えに行き、車に乗っていただきあらかじめ決まっているメニューに沿って一緒にプール入ったり着替えを手伝ったり映画を観たり、その後、買物や散歩したりして自宅に戻るといった内容が土日は多いです。平日は、施設等に迎えに行き、どこかで過ごし自宅に戻る形が多いです。

D委員：一人の方が、ヘルパーもやるし運転手もやるという認識でよろしいでしょうか。

A委員：はい。福祉有償運送で運転もできるし、ヘルパーとしての支援もできます。

D委員：ある程度、高校生など大きくなった方がプールなど行く場合、利用者が女性の時、運転手が男性のだと着替えなどの手伝いができない場合が考えられるが。

A委員：同姓介助が原則としています。

D委員：分かりました。

会長：その他、ございますでしょうか。

B委員：阿賀野市社会福祉協議会は土日が休みです。職員も講習を受けているのでボランティアとして運転ができればと話していますが職員だけでは難しい状況です。プールに行きたいという話もお聞きしているが、運転者が不足しているので、市内の方だけでなく、市外の方からも運転者の登録をして支援していただけるようにしていきたいと考えています。

会長：その他、ございますでしょうか。

事務局：次回の協議会の開催についてご案内します。平成29年8月から9月の間に現在登録されている事業所の更新の時期が重なっています。更新の1か月以上前に協議会を開催し協議が整ったことを事業所に通知しなければならず、事業所はその通知をもって県に提出するという事務手続きが必要となるため平成29年度の第1回目については、遅くとも7月末までには開催したいと思っています。その際は、今回と同様に実績報告以外に更新の協議をお願いしたいと思います。また、新規登録の申請があった場合は、そのことについても協議をお願いいたします。開催日時はあらためてご案内いたしますのでその節はよろしくをお願いいたします。

事務局からは以上になります。

会長：その他ございますか。

無いようですので、本日の協議会はこれで終了といたします。

9 問い合わせ先

社会福祉課障害福祉係 TEL：0250-62-2510（内線 2155）

E-mail：shakaifukushi@city.agano.niigata.jp